

[TPN 粉剤]

ダコニール粉剤

有効成分：TPN（化管法1種）…………… 4.0%

性状：類白色粉末 45 μ m以下
毒性：－
危険物：－
包装：3kg×8袋

ダコニールは株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

〔特長〕

- 稲の箱育苗期間中に発生するリゾープス菌による苗立枯病防除に、床土混和处理で優れた効果を発揮する。
- 粉剤なので防除作業が簡便である。
- 梅雨期間中など雨期間の防除や水利の不便なところでも、散粉機で手軽に散布できる。

〔適用病害と使用方法〕

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	TPNを含む農薬の総使用回数
トマト	葉かび病	3kg/10a	収穫前日まで	4回以内	散布	6回以内（土壌灌注：2回以内、散布及び常温煙霧及びくん煙及びエアゾル剤の噴射：合計4回以内）
きゅうり	べと病 炭疽病	3~4kg/ 10a		8回以内		14回以内（土壌灌注：2回以内、散布及び常温煙霧及びくん煙及びエアゾル剤の噴射：合計12回以内）
すいか	炭疽病	5kg/10a	収穫3日前まで	5回以内		5回以内
稲 （箱育苗）	苗立枯病 （リゾープス菌）	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5 ℓ ） 1箱当り 15~20g	は種前	1回	育苗箱土壌に均一に混和する。	2回以内

⚠ 効果・薬害等の注意

- 稲（箱育苗）に使用する場合、次の事項に注意する。
 - リゾープス菌による苗立枯病には有効であるが、フザリウム菌、その他による苗立枯病には効果が劣るので注意する。
 - 本剤の所定量をは種前に土壌とよく混和する。また、処理時期がは種時に近いほど有効なため、できるだけは種5日以内に使用する。

⚠ 安全使用上の注意

- 誤食などに注意する。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせる。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受ける。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、医師の手当を受ける。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。

●夏期高温時の使用をさける。



●散布の際は防護マスク、手袋、長ズボン・長袖の防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用する。また、粉末を吸い込んだり、浴びたりしないように注意し、作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。作業時に着用していた衣服等は、他のものとは分けて洗濯する。



●かぶれやすい人は作業に従事しない。施用した作物等に触れない。



●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないように注意する。



●魚毒性…水産動植物（魚類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散・流入しないよう注意する。本剤を使用した苗は養魚田に移植しない。移植後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意する。

●使用量に合わせ秤量し、使いきる。

[保管]：直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

化管法に対応するその他の注意事項は別表の分類6に表示してある。

農薬登録（登録番号）：クミアイ化学工業（10766）、住友化学（21328）

販売：クミアイ化学工業、住友化学